

1. 研究会の目的

経済産業省宇宙産業室では、宇宙太陽光発電システムの中核技術としてマイクロ波無線送電技術の研究開発を進めておりますが、この技術は宇宙太陽光発電システムに限らず、広く応用／事業化（ビジネス化）が期待できる将来的に有望な技術です。また、我が国が世界をリードしている技術領域の一つであり、早期のビジネス化により、デファクトスタンダードを勝ち得るなどグローバル市場での優位性確保も期待できます。従来、周波数確保などの課題もありましたが、「構内における空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの技術的条件」の報告書案が、情報通信審議会情報通信技術分科会陸上無線委員会で取りまとめられるなど、ビジネス化の環境も着実に整いつつあります。

一方、有望なビジネスモデルの目処はまだたっており、ビジネス化については加速が必要な状況です。

かかる現状に鑑みまして、企業・団体・専門家・行政機関等が集まり、ブレイクスルーの種が生まれることを期待して、マイクロ波無線送電技術ビジネス化研究会を開催いたします。

※本研究会は、宇宙太陽光発電における無線送受電技術高効率化等研究開発事業の一環として開催するものです。

2. 参加メンバー

企業・団体・専門家・行政機関等において、マイクロ波無線送電技術のビジネス化に関心のある方。

3. 活動内容

- (1) マイクロ波無線送電技術の活用方法のアイデア出し
- (2) アイデアの中から事業性のあるものについて具体的なビジネスモデルの検討
- (3) その他マイクロ波無線送電技術のビジネス化に向けて必要な活動

4. 協賛及び事務局

協 賛：ワイヤレス電力伝送実用化コンソーシアム [WiPoT]

事務局：一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構 [J-spacesystems]

5. 第2回研究会

日 時：令和4年3月2日(水) 14:00～15:50 (13:45 接続受付開始予定)

場 所：オンライン (Zoom Webinar)

形 態：Zoom Webinar によるオンライン講演会 (プログラムは別紙参照)

6. お申込み

オンラインでのお申込みとなります。以下の URL よりお申込みください。なお、システム／運営の都合上、「名」には氏名（氏と名の間はスペース）／「姓」は空欄（何も入力しない）で登録をお願いいたします。なお、ご登録いただいた情報は、講演者が聴講者を把握することを目的として、講演者に提供させていただきます。

https://zoom.us/webinar/register/WN_YPpljmTXQFmUPhNXDfHZGA

【重要】保有技術と所望技術の登録について

ビジネス創出の新しい試みといたしまして、企業団体等の「保有技術」と「所望技術」および「保有技術／所望技術の開示可否」の登録をお願いいたします。開示可としていただいた場合、「会社名／学校名」「保有技術」「所望技術」の一覧を、開示可としていただいた方々※に後日開示（配布）させていただく予定です。（個人名・メールアドレス・電話番号等その他の情報については配布いたしません。ビジネス創出のためにコンタクトを取りたい会社／学校がございましたら事務局にご連絡いただき、コンタクトのご希望を事務局から先方に取り次ぐなどの対応をさせていただく予定です。）

※保有技術／所望技術のいずれのご登録もない場合には、開示不可と同じ扱いとさせていただきます。

別紙. プログラム

令和4年3月2日(水)

Time	Item
13:45～	接続受付
14:00～14:20	開会の辞／諸連絡／主催者ご挨拶／協賛ご挨拶
14:20～15:00	講演① 「広がるリモート・ワイヤレス給電」 株式会社 Space Power Technologies 古川 実 様 数メートル離れた場所へ電力を供給可能な空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムは、産業分野における無人・屋内エリア利用から年内にも実用化がスタートする。ビジネス化に必要な制度化内容の概要および産業分野向け製品の利用シーン等を紹介する。
15:00～15:40	講演② (仮) 「マイクロ波無線送電に関する人体ばく露評価」 (仮) 国立研究開発法人情報通信研究機構 大西 輝夫 様 マイクロ波無線送電に関する電波防護指針について概説するとともに、国際標準化機関 IEC における人体ばく露評価法の標準化動向について紹介する
15:40～15:50	閉会の辞／諸連絡

※順番の入れ替え、多少の時間の前後が生じることもございますので、ご承知おきください。

<注意事項>

- ・大変多くの方の接続が予想されます。接続されるまでに時間を要することがございますので、ご了承ください。早めの接続にご協力お願いいたします。
- ・接続／画質／音質や操作方法などのお問合せには対応はいたしかねます。また、開会待ちの間でも、音声やテキストによる事務局への問い合わせ等には対応はいたしかねます。
- ・本研究会の録画／録音／転送／転載などは禁止といたします。
- ・接続はブラウザでも可能ですが、Zoom 専用アプリを利用したほうがPC等への負荷が小さく、音質等が悪化しづらいようです。

以上

お問合せ先：

一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構 [J-spacesystems] 衛星観測事業本部

メール：SSPS-Event@jspacesystems.or.jp